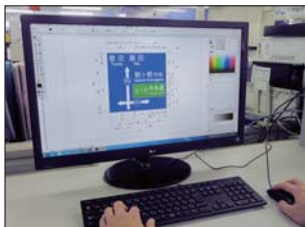


# 道路標識板の製作工程

## 標識製作工程

①  
レイアウト作成



- レイアウト依頼内容をレイアウト専用ソフトにより作成し、承認を受けます。  
カラーや書体、文字寸法などは、基準、各発注者の仕様、道路標識ハンドブックなどの指定仕様に合致するよう設計します。

②  
アルミ基板表面処理



- サンディング処理  
キズやスポット溶接の凹凸を削り表面を平らにします。



- 脱脂洗浄  
基板上的油分や汚れを表面処理剤によって処理します。

③  
文字記号カット



- カッティングプロッターにデータを読み込み、エア吸着によりシートを固定しカットします。



- カット後、必要な文字記号以外の部分を取り除きます。

④  
下地貼り



- 基板を原寸作図機の上に載せ、ローラーの圧力によりシートを貼り付けます。

⑤ 原寸作図



- 承認レイアウトデータを水性ペン付きのプロッターにて、原寸サイズで作図します。

⑥ 文字記号貼り



- カットした文字記号を作図通りに貼ります。



- 文字等が傾いたり、曲がったりしていないことに注意します。

⑦ 圧着



- 真空熱圧着により、基板とシートを接着します。  
真空圧・・・0.084MPa以上  
温度・・・66～71℃

⑧ 製品検査



- 文字・図柄は、レイアウト図面に対して、誤記・傾き・位置ズレがないこと等、検査します。

⑨ 梱包



- 運搬中にキズが付かないように、ダンボール等で保護し、出荷します。